

信州上田学「学びの成果発表会」プログラム

(教員役職は2022年度現在)

開会		
①開会の挨拶	中村英三学長先生より、開会の挨拶	
②来賓紹介	上田市長 土屋陽一様 ご紹介	
③趣旨説明	高橋副センター長より、全体のまとめ・次年度のお知らせ。	
第1部 「信州上田学」事業：上田市との協働事業		
①地域資料のデジタルアーカイブ化/デジタルコモンズ		
前川道博 教授 (企業情報学部)	飯高綾 (企業情報学部 4年) 竹中丈二 (企業情報学部 3年)	社会のデジタル化が進展し、学校では児童生徒の主体的で探求的な学びの支援が求められています。地域資料を参照・共用するためそのデジタル化は欠かせません。しかし社会全体でデジタル化は皆無といってよいほどに進まず、学校の資料室は「開かずの間」のまま、所蔵資料も学校の片隅に埋もれたままです。この事業では塩尻小郷土資料館等、学校の資料室や地域資料をネットに開き、ネットで誰もが閲覧できる地域資料のデジタルアーカイブ化に取り組みました。
②地域マネジメントプロジェクト2022～『てくてくうえだ』の制作を中心に～		
鈴木誠 教授 (企業情報学部)	多胡大輝 (企業情報学部 3年) 内田遥 (企業情報学部 3年) 岡村秀真 (企業情報学部 3年)	『てくてくうえだ』は、「上田で働く人を通して上田の魅力を探究する」が、コンセプトです。上田にある企業の経営者やそこで働く労働者を通して上田の魅力を探究し、上田の魅力を発信するSDGs11 (住み続けられるまちづくり) にも貢献する取り組みです。今年度は「信州上田学」特別号として発行しました。巻頭特集として「上田駅前グルメマップ」を掲載し、またゼミ生37名が5グループに分かれてそれぞれ5つの特集を組んでいます。
③上田市武石地域生活季節暦づくりたけしフェノロジーカレンダー・ポスター		
松下重雄 教授 (環境ツーリズム学部)	半戸菜月 (環境ツーリズム学部 3年) 友坂美結 (環境ツーリズム学部 3年) 渡辺栞里 (環境ツーリズム学部 3年) 新村瑛茉 (環境ツーリズム学部 3年) 坂田瑞希 (環境ツーリズム学部 3年)	武石地域における住民主体のツーリズムを推進するための基盤づくりに取り組みました。ワークショップ形式で、整理された情報をデザイン化して、地域の季節ごとの生活環境の特徴を取り纏めた「武石の生活季節暦 (フェノロジー・カレンダー)」づくりを行います。
④棚田の生物多様性と持続可能な利活用		
満尾世志人 准教授 (環境ツーリズム学部)	水落麻友 (環境ツーリズム学部 2年)	稲倉地区における棚田生態系の持続可能な管理・利活用のため、棚田生物を用いた環境学習ツール「棚田生物クイズカード」を作成します。制作したカードを活用した環境学習イベントを支援し、里山や棚田環境に関する普及啓発の推進、棚田の価値・魅力・現状を伝えることを目標とします。
⑤「若者たちへの伝言」記録集作成～市内の戦争体験者への聴き取りや 戦争遺跡から学んだこと～		
山浦和彦 教授 (社会福祉学部)	岡田 輝 (社会福祉学部 3年) 工藤 千佳 (社会福祉学部 3年) 高田 一吹 (社会福祉学部 3年) 篠原 隆雅 (社会福祉学部 3年) 下島 佳乃 (社会福祉学部 3年)	太平洋戦争を生き残った人々 (主に現在上田地域在住の方々) から日常生活の体験エピソードを学生たちが聞き取り、記録集「若者たちへの伝言」を作成しました。戦争体験を風化させないために、次世代を担う小中学校・高校生などに語り継ぐ研究活動を進めています。戦争を知る世代の方々の高齢化が進む中、喫緊に取り組む必要のある課題と言えます。
第2部 講義「信州上田学」：長野大学独自事業		
①後期開講「信州上田学A」		
前川道博 教授 (企業情報学部)	内田 真太郎 (企業情報学部 1年) 百瀬結 (社会福祉学部 1年) 山崎優希 (社会福祉学部 2年)	長野大学では2019年度以来、継続的・発展的に地域学科目「信州上田学」に取り組んでいます。今年度は3学部の教員がそれぞれ地域探求の視点を提供し、地元上田を学びのフィールドとする横断的な知識の形成、実践力を培う学びを支援しました。学生約100名の地域キュレーション学習成果は「みんなで作る信州上田デジタルマップ」に一元化しネット公開しました。当日は、信州上田で学び始めた学生に上田から学んで得た事や地域「上田」の面白さを披露してもらいます。
②地域協働活動「梔子ワイナリーを盛り上げよう！」活動報告		
松下重雄 教授 (環境ツーリズム学部)	大竹風輝 (企業情報学部 2年) 平林舞宙 (環境ツーリズム学部 2年) 豊田萌 (環境ツーリズム学部 2年)	梔子ワイナリーのヴァインヤードでのさまざまな作業やワイン醸造体験、ワイナリーショップでのインターンシップ等をつうじて、地域とともに歩むワイナリーの運営を学びました。そうしたプロセスを通じて、地域イベント「梔子マルシェ」において、来場者のニーズをとらえた学生企画を実践しました。
③地域協働活動「塩田平・日本遺産活用企画」活動報告		
古田睦美 教授 (環境ツーリズム学部)	高原新汰朗 (環境ツーリズム学部 2年) 春原陽菜梨 (環境ツーリズム学部 2年) 平山小那美 (環境ツーリズム学部 2年) 西山湧斗 (環境ツーリズム学部 2年) 大久保美咲 (環境ツーリズム学部 2年) 縣雄斗 (環境ツーリズム学部 2年)	塩田まちづくり協議会と協働し、日本遺産を次世代に継承・普及することを目的に活動に取り組みます。昨年度作成した「塩田平かるた」を活用したイベント・ゲームなどを通して、地域のこどもたちに向けてイベントを開催しました。レイライン観光コースを作成し、冬至の日にガイドを実施しました。
閉会		
①上田市長からのご講評	上田市長 土屋陽一様より、ご講評を賜りました。	
②全体のまとめ・次年度のお知らせ	高橋副センター長より、全体のまとめ・次年度のお知らせ。	
閉会。Webオンライン終了		